

授業評価 2014 (後期) T1N: 工学部建築学科

syll mkjhytex.pl Ver 2.73(2015-03-11) by Yas

2014 年度後期 工学部建築学科 授業評価 目次

授業コード	授業科目名	開講時限等	担当教員	ページ
T1N008001	世界建築史	1 年後期水曜 3 限	穎原 澄子	T1N 1
T1N047001	建築環境計画 III	3 年後期月曜 2 限	宗方 淳	T1N 2
T1N051001	施設デザイン計画 II	3 年後期月曜 4 限	柳澤 要	T1N 3
T1N052001	施設デザイン計画演習 II	3 年後期月曜 5 限	柳澤 要	T1N 4
T1N058001	火災安全工学	3 年後期火曜 2 限	平島 岳夫	T1N 5
T1N059001	構造設計 III	3 年後期水曜 3 限	原田 幸博	T1N 6
T1N061001	建築情報処理	3 年後期木曜 4 限	平沢 岳人	T1N 7

授業科目名	: 世界建築史
担当教員	: 額原 澄子
年次・開講時限	: 1 年後期水曜 3 限
授業コード	: T1N008001
授業アンケート	: 回答者数 43 人 / 受講者数 72 人 (回収率 60%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 43 件)
スライド送りが早い場合があったようなので, 改善したい。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

手を動かすことで歴史的建造物の成り立ち、構造、種類等について理解することを目指した授業であったため、出席率も概ね良好で、授業時には、熱心に配布資料への書き込みが行われていました。日頃の取り組みおよび復習ができていた学生は、かなり達成度は高かったです。

3. その他のコメントや連絡事項

ここで学んだ「基礎」知識をもとに、自ら事例を探索し、分析的な思考をもって歴史的建造物の理解を進めることを期待します。

作成(者): 額原澄子

授業科目名	: 建築環境計画 III
担当教員	: 宗方 淳
年次・開講時限	: 3 年後期月曜 2 限
授業コード	: T1N047001
授業アンケート	: 回答者数 21 人 / 受講者数 46 人 (回収率 46%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 20 件)

本講義ではスライドは最小限の使用に留め、板書主体の講義としている。その理由は、履修者が講義時間内に板書を書き取り、しっかりとその内容を把握することを期待しているからである。板書の文字が読みにくいとの指摘には改善を今後も心がけたい。

Q8. Q7 の評価が「はい」でない場合, その原因に該当するもの全て選択して下さい。(回答 10 件)

冬季に入る講義であるため、温熱環境や換気の不備による空気環境の不備が生じることは承知している。100 人収容の講義室に 40 名程度の履修者であるため、履修者はできるだけ環境の良い場所に座ることをお勧めする。また、建築学科で環境工学の講義を受けている以上、単なる受動的に環境の不満を甘んじるのではなく、環境を作る側の視点に立って、積極的に環境調整や改善を心がけて欲しい。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

後期の講義全般に関わる問題かもしれないが、講義の終盤に卒業設計の手伝いをするため、復習や予習に時間を費やせない学生が多いことを懸念している。卒業設計自体は建築学科の花道であり、それを後輩が手伝うことのような効果は承知しているが、自分自身の学習との両立をうまく成し遂げて欲しい。

3. その他のコメントや連絡事項

作成(者): 宗方淳

授業科目名	: 施設デザイン計画 II
担当教員	: 柳澤 要
年次・開講時限	: 3 年後期月曜 4 限
授業コード	: T1N051001
授業アンケート	: 回答者数 20 人 / 受講者数 64 人 (回収率 31%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q7. 教室の環境は満足できるものですか? (回答 18 件)

半数以上 (約 6 割) の学生が満足はしているが、昨年度までの工学系総合研究棟のアクティブラーニング教室を使用していた時よりはかなる低い。今年度は履修者数が増えてアクティブラーニング教室を使用できなくなり、通常の教室を利用したためである。来年度は新たに工学部 13 号棟に整備されるアクティブラーニング教室を利用する予定なので、学生の満足度も再び増加することが期待される。

Q9. 例題, 例え話やサンプル等がわかりやすかったですか? (回答 18 件)

はいと回答した学生が 8 割ほどで、授業の例題や事例は適切であったと考えている。来年度はアクティブラーニング教室を利用する予定なので、よりビジュアルでわかりやすいスライドやムービーなどを使った授業をする予定である。

Q16. 全体を通して、この授業に満足しましたか? (回答 18 件)

はいと回答した学生が 7 割ほどで、概ね満足度は高かったと考えるが、工学系総合研究棟のアクティブラーニング教室を使用していた昨年度までよりは低い数値である。来年度は工学部 13 号棟に整備されるアクティブラーニング教室を利用する予定なので、よりビジュアルでわかりやすい授業をする予定でこの数値もより増加することを期待している。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

理解度、スライドの見やすさ、声、授業の進度・理解度・満足度、など概ね高い数値で特に問題はないと考えている。

3. その他のコメントや連絡事項

前述したように今年度は履修者数が増えてアクティブラーニング教室を使用できなくなり、通常の教室を利用したため、授業内容や方法に合わせた教室環境ではなかったのが残念である。それが授業評価アンケートにもある程度反映されたと考えられる。来年度は新たに工学部 13 号棟に整備されるアクティブラーニング教室を利用する予定なので、スライドの見やすさ、効果的なプレゼンテーション、グループワークや学生発表のやりやすさなどが大幅に改善されると考えられる。学生の理解度・満足度も再び増加することが期待される。

作成(者): 柳澤 要

授業科目名 : 施設デザイン計画演習 II
担当教員 : 柳澤 要
年次・開講時限: 3 年後期月曜 5 限
授業コード : T1N052001
授業アンケート: 回答者数 19 人 / 受講者数 62 人 (回収率 31%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q7. 教室の環境は満足できるものですか? (回答 16 件)

前述したように今年度は履修者数が増えてアクティブラーニング教室を使用できなくなり、通常の教室を利用したため、授業内容や方法に合わせた教室環境ではなかったのが残念である。それが授業評価アンケートにもある程度反映されたと考えられる。来年度は新たに工学部 13 号棟に整備されるアクティブラーニング教室を利用する予定なので、スライドの見やすさ、効果的なプレゼンテーション、グループワークや学生発表のやりやすさなどが大幅に改善されると考えられる。学生の理解度・満足度も再び増加することが期待される。

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 17 件)

はいと回答した学生が 8 割ほどで、授業の例題や事例は適切であったと考えている。来年度はアクティブラーニング教室を利用する予定なので、よりビジュアルでわかりやすいスライドやムービーなどを使った授業をする予定である。

Q16. 全体を通して, この授業に満足しましたか? (回答 17 件)

はいと回答した学生が 7 割ほどで、概ね満足度は高かったと考えるが、工学系総合研究棟のアクティブラーニング教室を使用していた昨年度までよりは低い数値である。来年度は工学部 13 号棟に整備されるアクティブラーニング教室を利用する予定なので、よりビジュアルでわかりやすい授業をする予定でこの数値もより増加することを期待している。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

理解度、スライドの見やすさ、声、授業の進度・理解度・満足度、など概ね高い数値で特に問題はないと考えている。

3. その他のコメントや連絡事項

前述したように今年度は履修者数が増えてアクティブラーニング教室を使用できなくなり、通常の教室を利用したため、授業内容や方法に合わせた教室環境ではなかったのが残念である。それが授業評価アンケートにもある程度反映されたと考えられる。来年度は新たに工学部 13 号棟に整備されるアクティブラーニング教室を利用する予定なので、スライドの見やすさ、効果的なプレゼンテーション、グループワークや学生発表のやりやすさなどが大幅に改善されると考えられる。学生の理解度・満足度も再び増加することが期待される。

作成(者): 柳澤 要

授業科目名	: 火災安全工学
担当教員	: 平島 岳夫
年次・開講時限	: 3 年後期火曜 2 限
授業コード	: T1N058001
授業アンケート	: 回答者数 25 人 / 受講者数 69 人 (回収率 36%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q5. 板書, OHP, スライドなどは, 見やすかったですか? (回答 23 件)

工 9-206 教室のプロジェクターは光が強くないので心配であったが, 19 名 (82.6 %) が「はい」を選択したので, 本授業に用いたスライドは見やすかったようである。数回の講義で様々な火災現象をビデオで紹介したのは好評であった。

Q15. この授業の内容をよく理解できましたか? (回答 23 件)

11 名 (47.8 %) が「はい」, 11 名 (47.8 %) が「ややそうといえる」を選択しているので, 受講生の大半はある程度まで内容を理解できたと感じたようである。期末試験の平均点は 79.3 点であり, 例年よりも高い点数であった。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

まず授業評価アンケートに協力いただいた 25 名の学生に感謝します。今度の参考になる意見も頂きました。出欠確認の仕方などのコメントも頂いたので, 来年度の改善に役立てたいと思います。

3. その他のコメントや連絡事項

この火災の授業では, 燃焼・煙流動・伝熱・構造・避難計画など内容が多様であるため, どの内容も導入部のみ説明をただけであり, 火災現象に興味を持ってもらうことと防火対策の重要性を認識してもらうことに主眼を置いています。毎回の講義スライドの末尾に参考文献を示しているの
で, 更なる勉強を行う際に利用していただければと思います。

作成(者): 平島岳夫

授業科目名	: 構造設計 III
担当教員	: 原田 幸博
年次・開講時限	: 3 年後期水曜 3 限
授業コード	: T1N059001
授業アンケート	: 回答者数 12 人 / 受講者数 30 人 (回収率 40%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q1. この講義のシラバスについて、該当するものを全て選択して下さい。(回答 11 件)

「シラバスは見なかった」の回答が少なからずあった。学科全体でシラバスの充実に取り組んでいるだけに、いささか残念に思う。現状のシラバスの記述が詳しくすぎて読みにくい印象を与えているのかもしれない。

Q5. 板書, OHP, スライドなどは、見やすかったですか? (回答 11 件)

回答者全員が「はい」と回答している。これは、講義で使用するほぼ全てのスライドを Moodle 上で配布していることによるものと考えられる。スライドは毎年少しずつ改良を加えており、これまでの教材作成の努力が回答結果に反映されているのだろう。

Q12. あなたはこの授業にどの程度出席しましたか? (回答 11 件)

回答者の大半が「全回」と回答している。後述するように、本講義は出席点を考慮しない方針をとっている。しかし、それでも多くの回答者が全回出席していることから、多くの受講者は「出席点」という制約がなくとも、自主的に学習に取り組んでいると想像する。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

質問項目全体にわたって概ね高い評価を受けていると思う。一方、回答結果からは教室環境への不満が小さくないように感じた。施設改修などによる環境改善を期待したい。

3. その他のコメントや連絡事項

自由記述欄にて「出席点を考慮してほしい」旨の不満のコメントを毎年のように受けるが、出席点を考慮しない方針は今後も変える予定はない。これは、学生の課外活動等を妨げないことが一番の理由で、学生の自主的な学びを応援する前向きな意図によるものである。この点は、次年度以降も講義の初回冒頭でしっかり説明して理解してもらうように努めたい。

作成(者): 原田幸博

授業科目名	: 建築情報処理
担当教員	: 平沢 岳人
年次・開講時限	: 3 年後期木曜 4 限
授業コード	: T1N061001
授業アンケート	: 回答者数 10 人 / 受講者数 18 人 (回収率 56%)

1. 選定された授業アンケート項目に対する回答

Q1. この講義のシラバスについて、該当するものを全て選択して下さい。(回答 10 件)

定型の講義なのでシラバスは完成されている。回答からも 9 割の肯定意見が得られた。

Q2. 教材は授業の理解に役立ちましたか？(回答 9 件)

教科書は歴史も古く定評のあるものだが、記述がやや古い部分がある。現代の環境とは合致しない部分は講義中に解説を入れている。多くの学生が満足しているのでよかったと思う。

Q3. 教員の声はよく聞こえましたか？(回答 9 件)

地声が大きいのでマイクを使わないで済ませているが、他の講義で問題となったことはない。この講義では実演時に PC に向かった姿勢で話すことが多いので、そのときに聞こえづらいゾーンができていないのかもしれない。来年度は気をつけたいと思う。

2. 授業アンケート全体に対するコメント

15 回と短い講義で多くのことを学ぶので予習復習が特に重要。講義時間外にも遠慮無く質問をどうぞ。

3. その他のコメントや連絡事項

建築学科の他の講義とは毛色が異なるが、建築のどの分野に進んでも役に立つ知識。デザインにさえ該当するので多くの学生の受講を期待する。

作成(者): 平沢岳人